



感染防止に向けて

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、その重要性を強く意識して、防止策の取組に努めてきておりますが、全国的に第4波が広がり、県内においても増加傾向が続いていることから、本校においても県や市からの通知等に基づき、さらに感染防止の徹底を図りたいと思います。

一方、子どもたちの学びや豊かな生活もしっかりと充実を図ることができるよう協議・検討を行いながら教育活動に取り組んでまいります。保護者の皆様にも引き続き、感染防止にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

5/11 放送による全校集会での校長の話

新型コロナウイルス感染症が心配されています。感染の防止策ができているかチェックをしてみましょう。

① マスクをきちんとつけていますか。

(暑いときや運動をするとき、給食の時などは、健康のため外す時もありますが、その時にはできるだけしゃべらないなど、マナーを守りましょう)

② 手洗いや消毒をきちんとしていますか。ハンカチできちんとふくことも大切です。

③ 友達や先生などと話すときは、くっつきすぎないように間をあけていますか。

④ 教室の空気の入替えは、きちんとできていますか。

どうでしょう。やるべきことをきちんとやるのが大切です。

コロナウイルスは健康な体を傷つけるものですが、実はもう一つ、気を付けなければならないことがあります。**それは人の心を傷つけるということです。**

コロナウイルスに感染した人やその人々の世話や治療を行っている人をウイルスのように悪く言うことは、人としてとっても悲しいことです。そのような人たちこそ思いやりと励ましの言葉が必要なのです。

人の心を傷つける言葉を投げつけることこそがウイルスよりもっと恐ろしいことなんだと思います。自分が感染したときほかの人に避けられたり悪く言われたりしたらどう感じるでしょうか。逆に「大変だったね」「大丈夫」とやさしく声をかけられたらどうでしょうか。自分がしてほしいことはしない。自分がしてほしいことをする。

大変な時だからこそ、やさしい心と正しい行動で、明るい日々を作っていきましょう。

学校の取り組み

1. 「感染予防 教育活動上の生活・学習の注意事項」の改訂版を作成し、校内で周知、実行。
2. 「感染防止のための行動指導用サインボード」の活用による防止策の習慣化を徹底。
3. 感染防止強化期間の縦割り清掃の休止
4. アクリル板（飛沫防止）の活用
5. 学校机飛沫防止ガードの準備



運動会実施に向けて

[令和3年度運動会スローガン]の決定

運動会実施に向けた対応策

いよいよ子どもたちが楽しみにしている運動会が1週間後に迫りました。感染防止に努めながらも、当日に向け、みんなで練習や準備を進めております。本年度のスローガンも代表委員会を中心に募集活動を経て子どもたちの熟議の結果、6年生の国分なつみさん原案による

「とどいてる 応援の拍手とこの気持ち 全員全力 一誠大運動会」

に決定しました。コロナによる制限がある中でも、一人一人の思いをつなげ、応援しあい頑張りぬく、そんな思いが込められたスローガンのもと、元気いっぱいの運動会に！

そんな子どもたちの頑張る姿、喜ぶ笑顔のために実施を目指し、次のような点に配慮し対応していきますが、感染状況や対応に関する指針等により変更等がある場合には早急に連絡いたします。

運動会における感染防止策

- (1) 競技・演技種目の精査を図り、時間短縮に努める。
 - ・午前中の開催。(PTA等関係団体の種目を省略し、学校内での種目に絞っての実施)
 - (2) 感染リスクに考慮した競技種目の吟味
 - ・徒競走は、一組あたり的人数を縮小(間隔をとる)
 - (3) 児童席の間隔を広げる。
 - (4) 鼓笛演奏は、行進を行わず、間隔を広く取った位置での静止演奏として実施する。
 - (5) 手指消毒を準備して、感染防止に努める。(用具類の消毒)
 - (6) 保護者の皆様の理解を得て、観戦者一家族2名の制限を設け、密を避ける。
 - (7) 拍手や放送等、飛沫防止に努めた応援の工夫を行う。
- ※ 現時点での対策となります。今後の状況により検討を加えてまいります。

お願い

- 感染拡大を防ぐため
 - ・現状を考えると、だれでも濃厚接触やPCR検査対象、発症となる可能性は否めません。そのことに対する誹謗・中傷、噂の伝播は絶対にあってははいけないと考えます。
 - ・ご家族等も含め、発熱等の症状がある場合や濃厚接触やPCR検査対象になった場合には、学校に連絡いただくとともに、お子さんの健康・安心及び感染防止の点からも登校前に対応を検討・相談ください。(個人情報としての管理はしっかりと行ってまいります。)
- 万が一に備え(本校で発症者が出ることも想定し、慌てず、冷静に適切な対応ができるように)
 - ・児童の登校後に感染情報があった場合、早急に繰り上げ下校の連絡メールを配信することになります。その際、緊急のお迎えの必要が発生しますので、承知おきください。
 - ・濃厚接触や検査対象の該当者については、原則保健所からの個別連絡となります。
 - ・その後の出席停止期間や臨時休業期間等を含め対応等については、おって学校から連絡を行います。学校では保健所等関係機関との迅速な連絡の必要があることから、学校への電話連絡は避けていただくようお願いいたします。